

2022年度 柏市新任町会長勉強会

町会等の役割とコロナ禍での活動



人が地域をつくり 地域が人をつくる

柏市地域協働を考える会

自己紹介

【柏市地域協働を考える会】

1. 目的

柏市と協働し、**町会等の困りごとや課題について、共に考え、これを自ら解決すること**を目的に活動を行う公益活動団体です。
2014年に発足しました。



2. 発足のきっかけ

- 以前に柏市が開校していた、かしわ市民大学で「地域活動」を学んだ卒業生有志が会を設立
- 翌年より、柏市地域支援課(現 市民活動支援課)との協業事業を開始し、現在に至る

3. 活動内容（柏市市民活動支援課との協働事業）

- 1) 町会等活動講座の開催（今年度より年4回）
 - ★ICT活用講座、課題解決講座、次期役員の準備講座
- 2) 相談窓口事業（電話やメール、ホームページから受付）
- 3) 新任町会長勉強会の開催協力（年2回）
- 4) 町会長会議の開催協力（年1回）
- 5) 町会等取材活動
 - ★取材結果を元に「活動事例集」「町会等運営ガイドブック」「コロナ禍における対応事例集」を作成
- 6) 他市との交流
 - ★外部講座への参加
 - ★白井市、守谷市、八千代市、成田市などとの交流

4. 会員 12名（2022年度）

- 1) 町会等、ふるさと協議会の会長や役員経験者（現役もいます）
- 2) 地域活動経験者（民生委員、市民活動団体等）

柏市地域協働を考える会の活動紹介記事（2020年度）

千葉県 つれづれに

町会（自治会）の運営を支援し、さまざまな活動を広く伝えるために設立された公益活動団体が柏市にある。2014年に発足した「柏市地域協働を考える会」。町会役員の実験者ら13人のグループだ。

考える会と同市地域支援課が協働で行った18年の調査によると、市内の全世帯のうち、町会に加入している世帯の占める割合は67.6%。5年前の73.5%から約6%減少した。加入率の低下は多く

地域の協働

の町会が抱える課題だが、その背景の一つにマンションなど集合住宅の増加があるという。考える会の昨年の調査によると、市内にある10階建て以上の集合住宅124軒のうち、町会に加入していない集合住宅は44%を占めた。6階建て以上

10階建て未満では、加入している集合住宅はさらに少ないと予想されるという。集合住宅の加入率を向上させようと、考える会の斎澤勇夫会長と深津英雄事務局長らは「市役所職員とともに管理組合を訪問して説明会を行っている。この

らげるために考える会が力を入れているのは、各町会への「取材」。毎年、市地域支援課と協働でまとめている「柏市 町会・自治会・活動事例集」には、取材で集めたさまざまな事例が紹介されている。「旧役員は退任後もアドバイザーとして、やはり1年間は新役員に協力している」「IT班をつくり、町会資料をクラウド上に登録。

近頃の防犯灯の費用は町会から出ているんです」「地域の民生委員も町会が推薦しています」。熱心に耳を傾ける住民もいるが、「市税を払っているのに、市にやってもらえない」「と苦言やかな答えが返ってくることもあった。

自治会活動支援に奨励賞

あしたのまち活動賞 柏市地域協働を考える会



オンライン回覧板の導入などについて話し合う
斎澤会長（中央）らメンバー（柏市役所で）

住のしやすい地域社会作り」に独自の発想で取り組む団体などを表彰する「あしたのまち・くらしづくり活動賞」（あしたの日本を創る協会、読売新聞東京本社など主催）、柏市の市団

体「柏市地域協働を考える会」が振興奨励賞を受賞した。市と連携して自治会の活動を支援し、ICT（情報通信技術）活用の促進なども取り組んでいる。総務省によると、全国では約30万の町内会がある

た。6月には、市と協力して「町会等運営ガイドブック」を作成。地域の自主防災の取り組みなどを取材し、紹介した。無料通信アプリLINEを活用したオンライン回覧板の導入も呼びかけており、今月末にはICT活用のオンライン勉強会を計画している。

が、加入率は各地で低迷している。柏市でも町会や自治会の加入率は4月時点で約64%と、ピークの2010年から10%以上低下している。役員の手不足も課題だ。同会は16年、市民講座から「地域に恩返しを」として、一緒に学んだメンバーらと結成。町会や自治会の役員らの相談に応じるため、従来の対面窓口に加え、今年、オンラインでの対応を始め

令和2年度あしたのまち・くらしづくり活動賞の受賞記事

全国から220件以上が応募、内閣総理大臣賞をはじめ、約14%が受賞した中で、「柏市地域協働を考える会」は、振興奨励賞の1件に選出されました。

10月20日 読売新聞朝刊に記事が載りました。

6月2日 毎日新聞朝刊に記事が載りました。

町会等の役割

【町会、自治会、区とは】

1) 目的

- ・ 市民が自主的に、
- ・ その地域に住む人と人を繋ぎ、
- ・ 安心/安全/住み良い地域を創りだす

2) 何故あるのか？

- ・ 住民の連帯感醸成（孤立回避）
- ・ 地域問題の早期解決（住民主体の自治確立、責任）

3) 住民から見たメリット

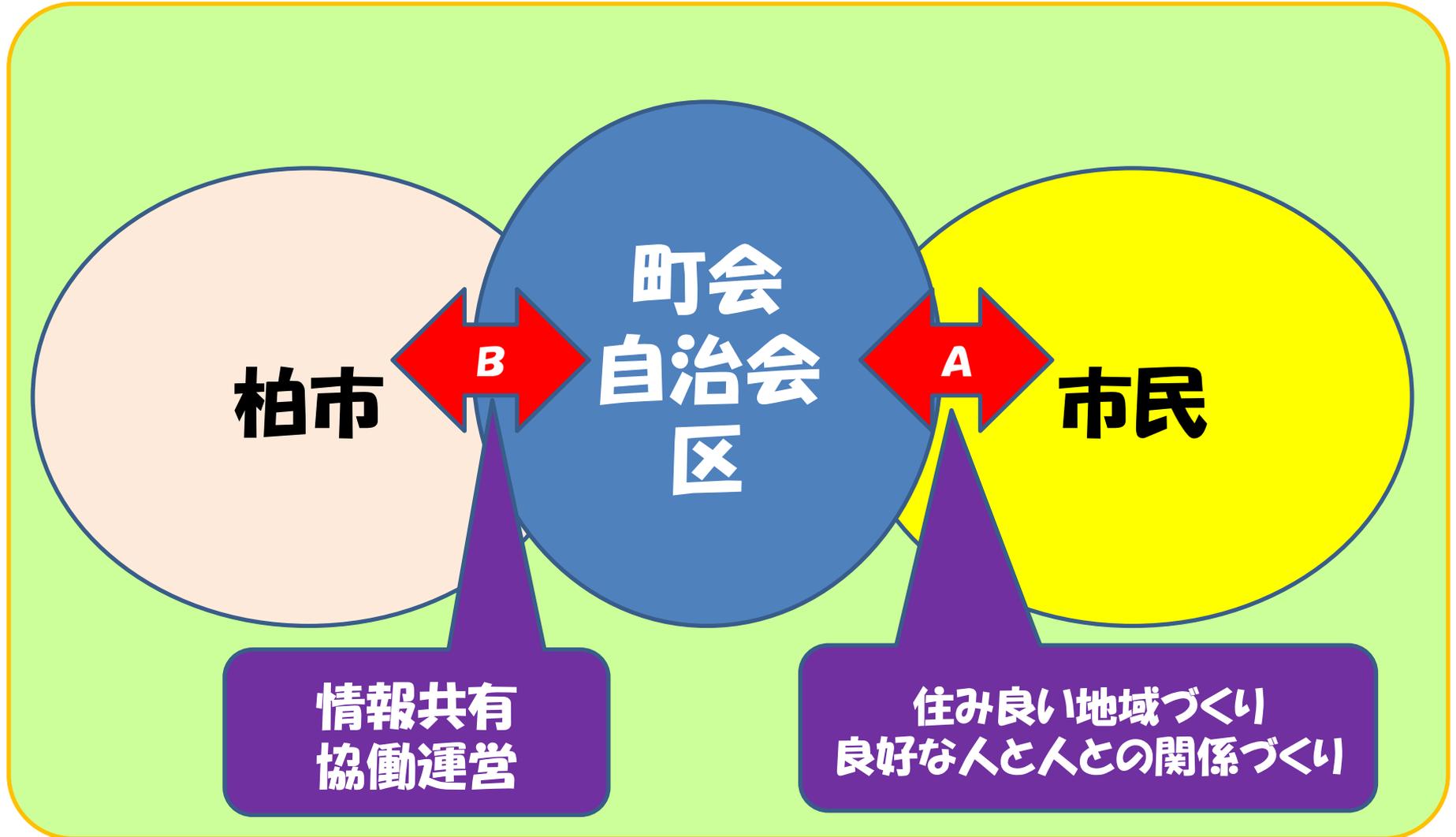
- ・ 地域の協力関係、支援関係を容易に得られる
- ・ 住環境を改善し、不便を感じないものにできる

町会等の役割

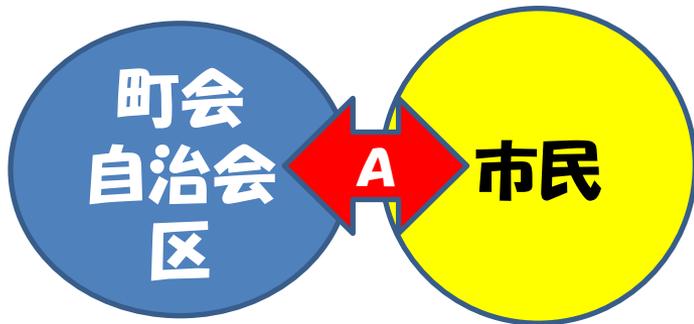
【もし、町会、自治会が無かったら】

- 1) 負担（町会費、役回りなど）が減る
- 2) 人付き合いの煩わしさが無い
- 3) 町会、自治会が担っている役割を自己負担する
→ ごみ出し、防犯灯管理、見守り、災害対応など
- 4) 地域の問題を、自己負担、自己解決する必要がある
→ 住環境整備/改善、連絡/交渉/調整など

柏市町会等の活動



市民(地域の人)への働きかけ



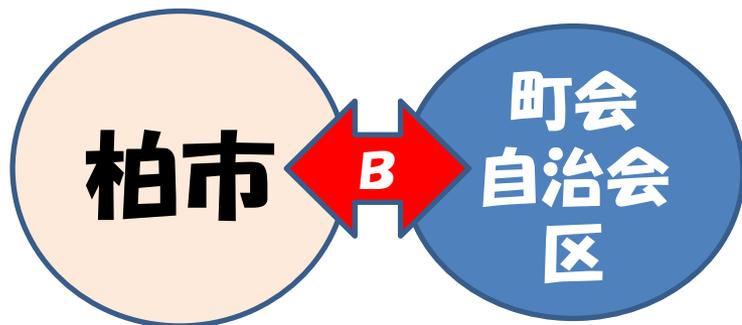
1. 住み良い地域づくり

- 1) 安心・安全な地域づくり →防災、防犯、福祉活動（見守りなど）
- 2) きれいな地域づくり →環境美化活動
- 3) たのしい地域づくり →交流活動（お祭り、文化祭など）

2. 良好な人と人との関係づくり

- 1) 町会等内や近隣地域
- 2) 地域委員やふるさと協議会
- 3) 学校
- 4) 地域団体（青少協、防犯協会、福祉団体、消防団、神社など）

柏市への働きかけ



1. 補助金、交付金申請

2. 情報共有

- 1) 回覧物
- 2) 新たな制度や補助金申請内容
- 3) 委員選出（柏市から依頼）
- 4) 相談（高齢化対策、子ども対策など）

3. 地域環境整備

- 1) 防犯灯、カーブミラー、ごみ集積所等の設置、変更など
- 2) 道路、下水道整備など
- 3) 空き家対策

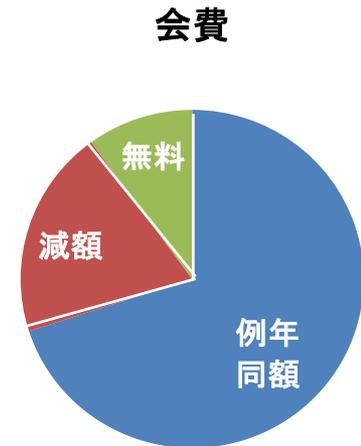
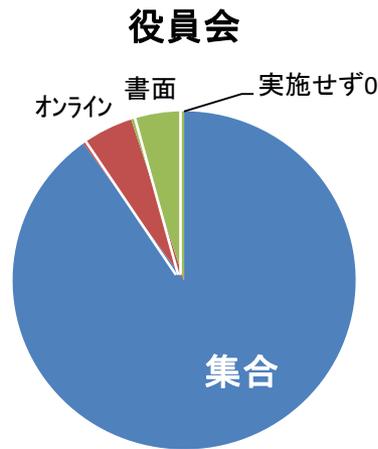
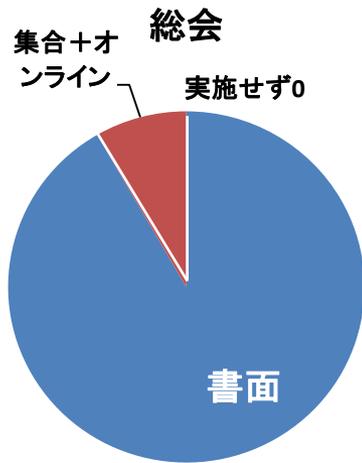
町会内への働きかけ

町会
自治会
区

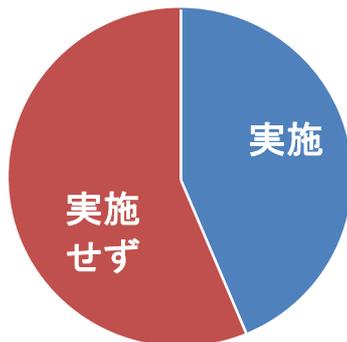
1. 町会加入活動、町会費集金
2. 役員の確保
3. ふるさと協議会との連携
4. 広報活動（例）
 - 1) 広報誌（新聞など）
 - 2) 配布物（イベントちらしなど）
 - 3) ホームページ

コロナ禍での町会等活動

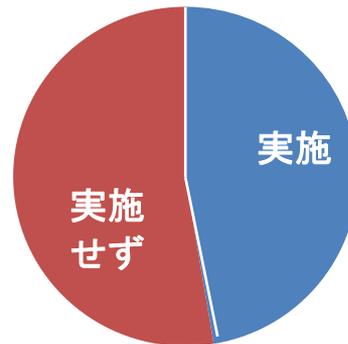
【町会等活動の実態（2020～21年度）】



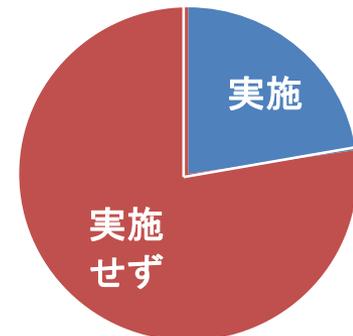
防災活動



防犯活動



お祭り



コロナ禍での町会等活動

【町会等運営の課題】

1. 町会等活動の停滞（担い手不足、負担増、加入率減少）
2. 町会等活動の継承（引継ぎ）が出来ない
3. 地域の治安維持、
非常時の協力体制の弱体化
4. 孤立する住民の増加

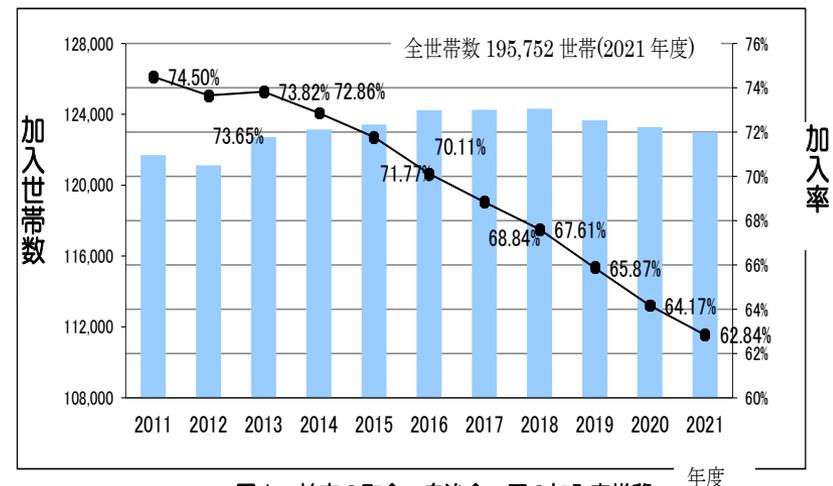


図1. 柏市の町会、自治会、区の加入率推移

コロナ禍での町会等活動

【コロナ禍での町会等活動の考え方】

1. 「コロナだから活動は止める」では無く、「コロナだから**出来る事や出来る方法**を考える」
2. 一度行事を止めてしまうと、再開が難しい。**持続可能な引継ぎや伝承方法**を検討する
3. 同じことの実施が難しいのであれば、**思い切って新たな活動**を始める

コロナ禍での町会等活動

【柏市の町会等活動事例】

1. 町会等運営方法の見直し

1) マニュアル類を整備する

町会等運営ガイド、防災マニュアル、規約の見直し

2) ICT化を進める

オンライン会議やオンライン回覧、ホームページの開設、町会費の電子決済、町会資料のデジタル化

3) 積極的な情報発信

手紙、広報紙、アンケート、掲示板整備

コロナ禍での町会等活動

【柏市の町会等活動事例】

1. 町会等活動（イベント等）の見直し

1) **3密回避**（場所、時間、人数の分散）

分散防犯パトロール、安否確認訓練、防災機材/マニュアル整備、防犯カメラ設置

2) **野外**活動

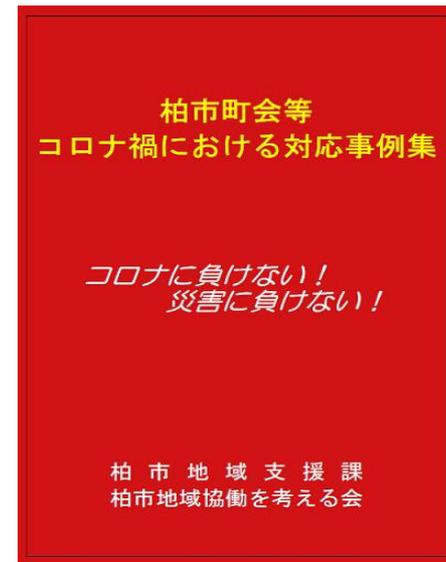
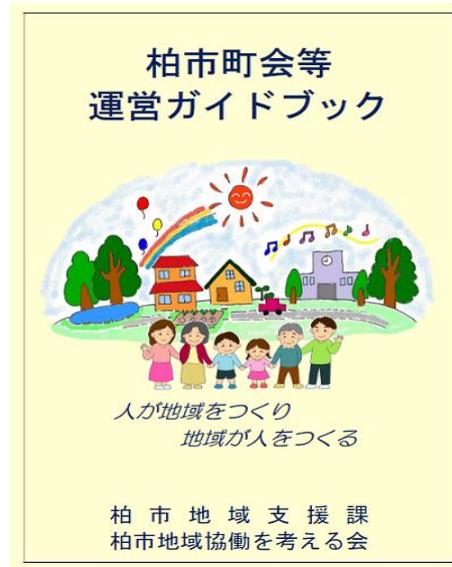
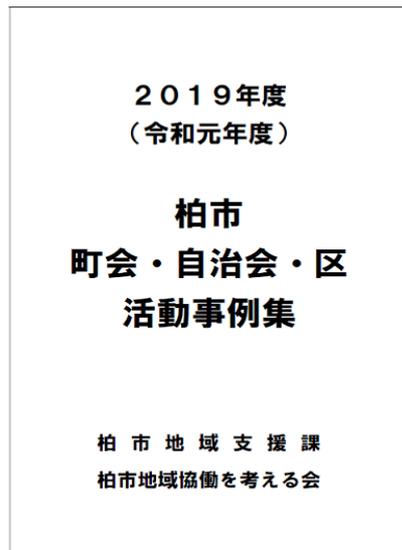
ウォーキング、スタンプラリー、清掃活動、花壇整備
ハロウィンパレード

3) **オンライン**の活用

「お家で祭り」のネット配信、スマホ教室

課題解決のために

- 各課題に取り組み、解決、改善をご紹介している「**町会、自治会、区活動事例集**」や町会運営の参考書「**町会等運営ガイドブック**」を、是非、ご参考にして下さい。
- 新型コロナウイルス感染拡大防止が続く中での町会等活動についてまとめた「**町会等コロナ禍における対応事例集**」も、是非、ご参考にして下さい。



各町会長等宛にお送りしていますが、柏市市民活動支援課もしくは柏市地域協働を考える会のホームページからもアクセス可能です。

さいごに

○**ご相談**がありましたら、以下にて当会のホームページにアクセスし、お問い合わせ下さい。是非ご活用下さい。

柏市 考える会

○柏市市民活動支援課または柏市地域協働を考える会へ、いつでもメールでご相談下さい。

柏市市民活動支援課 shiminkatsudo@city.kashiwa.chiba.jp

柏市地域協働を考える会 info@kyodoukai.jp

一緒に考えていきましょう！

2022年度 柏市新任町会長勉強会



人が地域をつくり 地域が人をつくる

おわり